



THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU
名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

<本年度会長方針>

大きな和を築こう

No.1183

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 鬼頭茂成 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 岡村隆徳 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1390回例会

R財団月間

平成24年11月8日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 63名

出席計算数

59名中48名出席

出席率81・36%

前々回出席率90・74%

例会プログラム

★西名古屋分区I.M.P.R

★R-第2760地区

第3回併句大会入選のご報告

ロータリーソング

「ROTARY-ARY」

指揮者 丹下 富博

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

名古屋大学名誉教授

愛知県森林公園ゴルフ場

取締役 松本 哲男さん

ピクチャー

名古屋RC 鈴木 昌義さん

名古屋名駅RC 小西 忠昭さん

小室健次郎さん

ニコソックス

来年2月20日のI.M.でオオスシ
ンガースの美しい歌声を楽しみに
しております。

名古屋名駅RC 小西 忠昭さん

小室健次郎さん

松本 哲男先生、本日は卓話よろ

しくお願いします。 鬼頭 茂成

岡村 隆徳・日比野重士男

住田さん、藤田さん、田崎さん

岡村さん、丹下さん、日比野さん

ありがとうございます。娘が結

婚しました。 川畑 博敬

川畑さん、娘さんのご結婚、おめ

でのごさいます。 田崎 雅三

家内の誕生日です。 神田 憲

ちよつといいことがありました。

横井 衛

次回はハワイ例会でお会いしまし

よう。 吉田 隆彦

浅井さん、ありがとうございます

尾上 昇

会長挨拶

会長 鬼頭 茂成

みなさんこんにちは。今日は名
古屋大学名誉教授の松本哲男先生
の卓話です。森林公園ゴルフ場の
生態系を含む自然の管理は総て先
生の指導によるものだと同じとい
ます。お話を楽しみにしています。

さて、米は、日本の歴史の中で

も古くから登場します。縄文時代

という名前さえあります。これは

出土した土器に縄文すなわち縄の

模様が印されていたことによりま

す。紀元前の頃です。弥生時代に

は農耕集落となり、稲を作ってい

たと思われま。縄文時代はとい

いますと、やはり縄か出来るほど

稲があるわけですので、農耕をし

ていたのではないかと思います。

現在では米は、白米にして炊飯

するのですが、最初に米を食べた

人はどのように食べたのでしょうか。

人類が火を使ったのは相当早くか

ら使ったようですが、最初からこ

飯を炊いたとは思えません。米は

生では、食べても消化しません。

水分と熱を加えて初めてアルファ

ー化澱粉となって消化します。ま

た、生では固くて食べるといふ発

想が起りません。また、米は麦

と違い固くて粉にもなりません。

最初に米を食べたのは、人類が

何度か山火事に遭遇して、その結

果火を使うようになった頃であろ

うと思ひます。風の強い日に山火

事が起り、その後、雨が降り火

も消えた頃、何か食べれるものは

ないかと探していた人が、何か白

いものを見つけた。それは、稲

穂が火にあぶられてはげたもので

です。日本料理の店で稲穂を火であ

ぶってはげさせたものを、彩りに

出される店がありますが、まさに

それです。きつと皆さんはそれを

口に入れてはのばりて召し上から

れると思ひますが、これを水につ

けると、いわゆるご飯のようにな

ります。アルファー化した澱粉に

水分が加わり糊化したといひます。

偶然、雨に当り糊化した稲を見つ

けました。これが、人類がはじめ

てご飯を食べた瞬間です。

ひとつ見つければ発想が膨らみ

ます。稲を見つけ、水と火があれば

ご飯になるのです。稲穂を集め

もみに火をつけて水につければい

いのです。こうなるか今度は器を

考えるようになります。最初にこ

飯を食べたのです。土器はそれを

食べる為に必要だったのです。

菓子の歴史は古く、今でも「お

こし」といわれる菓子は、これは

げた米で、現在でもこの社会で好

んで食べられています。

「清聴ありがとうございます。

卓話

「里山と共生するゴルフ場を目指

して - 環境破壊の元凶から保

護のナイトへ」

名古屋大学名誉教授

愛知県森林公園ゴルフ場取締役

松本 哲男さん



これまで自然を破壊する元凶と
まで言われていたゴルフ場が、気
がつけば周りは住宅だらけで、結
局は緑の保護区になっているとい
う現実がある。それならゴルフ場
をもっと自然を保護する観点から
積極的に利用してはどうかという

考えで取り組み始めたのが、森林公園ゴルフ場における里山との共生の取り組みである。

里山は「存じのよう」に人間が常に手を入れていかなければ、究極的には森に遷移してしまう。「里山を守る」とは、自然と調和を保ちながら人が生活することである。

里山の崩壊で絶滅の危機にある動植物を同様な自然環境にあるゴルフ場を利用して保護し、市民に開放して半自然の里山環境の疑似体験をしてもらうことで、里山保全の意義を理解していただく。自然との共生の重要性を学ぶ場を提供するのが、21世紀のゴルフ場の使命の一つと考え取り組んでいる。

森林公園ゴルフ場は県立森林公園の中に1955年12月、全国で2番目のパブリックゴルフ場として新設された。1991年、バブル経済の崩壊とともにゴルフ場の経営が全国的に厳しくなる中で、当ゴルフ場も例外ではなかった。プレー代が下がり、パブリック料金の比較優位性が失われる一方、管理が次第に不十分になり、キャディサービスへの不満も募り、利用者が急激に減少した。2003年10月、愛知県は県営森林公園ゴルフ場をPFI（民間資金を活用した社会資本整備）方式で再整備・運営することを発表した。県にとって最初のPFI事業で、20年後県に無条件譲渡、パブリック

維持、従業員の一部引き継ぎなどを条件に翌年4月民間事業者を募集した。5社が応募し、同年11月「里山との共生」をキーワードに「20年間の安定経営」「資産価値の最大化」「県と県民に対する還元」を掲げた現経営母体であるウッドフレンズグループが受託した。

県の事業者選定委員会による審査では、他社の提案書も非常に高い評価を受けたが、ウッドフレンズの「里山共生」の一文が決定的になったと伺った。新事業方式で、2007年4月、森林公園ゴルフ場は再オープンした。オープン直後に発行されたゴルフダイジェスト社の雑誌Choice 5月号に早くも日本のベスト100コースに選ばれ、パーゴルフの2008年度ベストコースランキングで31位、営業努力部門1位になった。利用者も目標の初年度入場者数8万5千人を大幅に上回り10万人になった。以後、順調に推移している。

諮問委員会を設け、運営の透明性の確保と利用者からの改善要求などを反映させている。ゴルフ場は2008年8月、環境マネジメントの国際規格「ISO14001」を取得した。

2007年から場内の本格的植生と動物の生態環境調査を行い、ゴルフ場利用者の親子を対象に「ゴルフ場内でできる里山つくり」への参加を呼びかけ始めた。20

09年4月「里山つくり」の3つの取り組みを開始した。

1. ゴルフ場内外の野生動植物を保全、繁殖させ、彼らと共生するゴルフ場を利用した大都市近郊の里山つくりとその環境保全。
2. 場内を市民に開放し、豊かな里山環境を体験することにより、里山保全の意義を理解していただく、里山活動。
3. 地産地消を目指す里山市場の開設。

現在、場内には国・県指定絶滅危惧植物のシテウチノキ、サクラバハハンノキ、シマシタムラソウ、シラタマホシクサ、ヘビノカスラ、マメナシ、ミカワシオガマ、モンゴリナラ、絶滅危惧動物のムササビ、カヤネズミ、貴重植物のクロミノニシキゴリ、ササユリ、トウカイモウセンゴケが自然生息している。最近ホタルの繁殖も見られるようになった。これまでにニホンリスのえさになる抵抗性アカマツを200本5年間植樹した。もうひとつの主要なエサであるオニグルミの実植えも行い、

ムササビ用の巣箱を40個作成した。里山活動では県民がコース内の豊かな自然環境と親しむ機会を提供す



里山活動では県民がコース内の豊かな自然環境と親しむ機会を提供す

るために、毎月定休日にゴルフ場を開放し、自然観察の場として各種イベントを組み、夏休みには児童対象に自由研究のキャンプを催している。里山市場を第2、4の土日開始し、環境に配慮し、愛着をもって商品をつくっている地域の生産者が、安全・安心でおいしい野菜やくだもの、農産加工品を販売している。

ここに述べたようなことが順調に行われても、目指す「里山」の形が見えるには20年かかるであろう。抵抗性アカマツやオニグルミの実を植えた子供たちが大人になり、自分の娘や息子たちに、成長した木を見せに来ることを想像するのは愉快なことである。春にはカタクリの花が咲き、ギフチョウが舞い、夏にはキャンプを張り、親子でホタルを楽しみ、ムササビの滑空を観察することができる。ゴルフ場が全国にできれば、ゴルフ場は市民に親しい憩いの場にもなり、その地位は飛躍的に上がり、アメリカと

はまた一味違う住民の集まる場になるであろう。



森林公園ゴルフ場への夢

R1第2760地区
第3回俳句大会入選のご報告



11月4日(日)開催の「第3回俳句大会」にて、表彰・記念品授与が行われました。

11月22日(木)例会の案内

例年通り
ハイウェイ例会
11月21日(水)〜24日(土)

11月29日(木)例会の案内

卓話
「原子力の安全と国際機関」
独立行政法人原子力安全基盤機構 理事長特別補佐

紹介者 鬼頭 茂成さん
下村 和生さん

広報委員会
近藤宏一郎・林 富徳
杉浦 令淑・青木 靖高
*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。